

質の高い公共サービスの提供や投資効果の効率化が求められる中、社会インフラの整備・運用・維持管理といった公共サービスの提供など、これまで行政機関のみが担ってきた役割が、民間委託、PFIなどの官民連携に変化しつつあります。今年度の都市計画研究会では、「官民連携」をテーマとして3回シリーズでまちづくりにおける公共と民間の連携・役割分担の現状と課題を検討しています。

第2回は、第1回の演題「都市機能集約」における具体的案件形成の参考となる官民連携の事例、民活プロジェクト、都市施設等の事業事例の概要をご紹介します。併せて、公共の支援制度や国内代表事例等から、今後の公共サービスのあり方への最新情報や事業手法、課題や展望についてお話を頂きます。

◆日時：平成26年10月18日（土）15：30～17：30（約2時間）

◆場所：広島市まちづくり市民交流プラザ 4階ギャラリーA  
（広島市中区袋町6番36号・・・前回と同じです）

◆講師：東 一洋氏（株）日本総合研究所 シニアマネジャー

◆演題：「**官民連携事業（PPP/PFI）の新潮流と今後の公共サービス**」

◆申込：宮迫勇次 E-mail:miyasako@fukken.co.jp 参加費：無料

※→上記アドレスへ参加メールをください。10月12日までにお願いします。

→会員以外での参加も可能、広くご案内ご転送ください。

※→【参加申込メールの記載事項】 お名前、所属、電話番号またはE-mail アドレス

#### ■ 1. PFI/PPP事業の流れ

・ PFI法の改正 ・ 日本再興戦略 ・ 内閣府アクションプラン ・ 大型コンセッション案件

#### ■ 2. 自治体による先進的なPFI/PPP事業

・ 武雄市図書館 ・ 大阪城パークマネジメント事業 ・ 横浜みなとみらいMICE事業  
・ 岩手県紫波町オガールプロジェクト など

#### ■ 3. 自治体を巡る状況

・ 少子・高齢化 ・ 財政問題 ・ 人材不足

#### ■ 4. 今後の公共サービスのあり方

・ 自治体単位の発想を捨てる（横の自治体も課題は一緒）  
・ 組織単位の発想を捨てる（住民生活は縦割りではない）  
・ サービスの提供者からコーディネーター、エヴァリュエーターへ

写真：武雄市図書館

<http://www.epochal.city.takeo.lg.jp/winj/opac/top.do>

【講師プロフィール：東 一洋（あずま かずひろ）】

◇昭和60年 神戸大学工学部建築学科卒業後、広告代理店入社。その後、住友ビジネスコンサルティング株式会社を経て平成元年、日本総研の創立メンバーとして総合研究本部地域開発研究部に異動。

◇日本総研入社以来、官民連携による事業開発、PFI事業開発にわる。関西学院大学非常勤講師。大阪勤務。

主催：公益社団法人日本都市計画学会中国四国支部

事務局：広島市西区楠木町1丁目14-10-202 地域計画工房内 担当：企画・研究委員会